



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月8日

上場会社名 白銅株式会社

上場取引所 東

コード番号 7637 URL <https://www.hakudo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	47,379	17.1	3,166	1.1	3,369	4.8	2,289	4.6
2022年3月期第3四半期	40,474	45.6	3,130	163.6	3,216	156.9	2,187	151.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,319百万円 (2.6%) 2022年3月期第3四半期 2,261百万円 (158.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	201.82	
2022年3月期第3四半期	192.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	44,678	20,731	46.4
2022年3月期	41,780	19,829	47.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 20,731百万円 2022年3月期 19,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		48.00		67.00	115.00
2023年3月期		58.00			
2023年3月期(予想)				51.00	109.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,100	12.0	3,970	6.7	4,080	6.7	2,860	3.5	252.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注) 詳細は、添付資料P8「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	11,343,300 株	2022年3月期	11,343,300 株
2023年3月期3Q	1,515 株	2022年3月期	1,515 株
2023年3月期3Q	11,341,785 株	2022年3月期3Q	11,341,842 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 売上高

売上高は、前年同四半期比17.1%増加し、473億7千9百万円となりました。主な増加要因は、原材料市況の影響等によるものです。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心に好調を維持した一方で、新型コロナウイルス感染症は収束が見えない状況が継続しており、ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻の長期化によるエネルギー価格の高騰、急激な為替相場の変動などにより、景気の先行きに不透明感が広がっております。

当社グループ業績に影響が大きい半導体製造装置業界においても、長期的にはIoTやDX、AIの推進などによる半導体需要の拡大が予想されているものの、在庫調整局面が続いております。

その他、工作機械業界は、当第3四半期以降、輸出向けを中心に受注環境は減少傾向に転じております。

また、航空機業界の設備投資は回復の兆しが見られますが、依然として低調な状況が継続しております。

なお、感染拡大が続く新型コロナウイルスを踏まえ、当社グループでは、在宅勤務・時差出勤の継続等による感染予防策を引き続き実施しております。

顧客往訪や対面営業が制約を受ける中で、以前より当社が注力してきた24時間365日お見積り・ご注文可能なWEBサイト「白銅ネットサービス」の利用促進および「リモート営業」ツールの活用により、顧客サービス低下への影響を一定範囲に抑えております。

また、「白銅ネットサービス」の取扱商品数を2022年3月末の32,700品目サイズから2022年12月末には、46,000品目サイズへ拡充し、利便性の向上に努めました。

その他、連結子会社の内、上海白銅精密材料有限公司は、中国国内における新型コロナウイルスの行動制限等の影響により、売上高は前年同四半期を下回りましたが、株式会社AQR、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.の売上高は、前年同四半期を上回って、好調に推移しております。

以上の顧客満足度の向上および事業規模拡大等の施策を着実に実行いたしました結果、売上高は、前年同四半期比で増加しました。

② 営業利益

営業利益は、前年同四半期比1.1%増加し、31億6千6百万円となりました。

運賃や電気料金をはじめとする各種コストは上昇しましたが、売上高の増加および原材料市況の影響等により、増益となりました。なお、前年同四半期の棚卸資産影響額の差益は4億2千2百万円でしたが、当第3四半期連結累計期間の棚卸資産影響額の差益は4億5千1百万円に増加しました。

棚卸資産影響額を除いた営業利益は、前年同四半期比で0.2%増加し、27億1千5百万円となりました。

③ 経常利益

経常利益は、営業利益の増加により前年同四半期比4.8%増加し、33億6千9百万円となりました。

なお、当社は2022年12月14日付で米国に100%出資子会社である、Hakudo USA Inc. を設立しましたが、当第3四半期連結累計期間における業績への影響はありません。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比4.6%増加し、22億8千9百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりとなります。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

セグメント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
日本	45,268百万円	3,071百万円	3,254百万円	2,198百万円
中国	1,214百万円	7百万円	26百万円	19百万円
その他	896百万円	88百万円	88百万円	71百万円

④ 当社を取り巻く環境

原材料市況は、電気銅建値がトン当たり2022年3月末の133万円から2022年12月末には116万円に下落し、アルミニウム地金（日本経済新聞月別平均値）もトン当たり2022年3月末の48万8千円から2022年12月末には39万3千円に下落しました。

一方、ステンレス鋼板（鉄鋼新聞月別中心値）はトン当たり2022年3月末の50万円から2022年12月末には68万円に上昇しました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、446億7千8百万円と、対前連結会計年度末比で28億9千8百万円増加しました。

流動資産は、364億6千6百万円と、対前連結会計年度末比で28億5千万円増加しました。増加額内訳は、商品及び製品23億3千9百万円、電子記録債権12億3百万円、その他2億6千6百万円等です。減少額内訳は、現金及び預金9億3千1百万円等です。

固定資産は、82億1千2百万円と、対前連結会計年度末比で4千7百万円増加しました。増加額内訳は、無形固定資産8千6百万円等です。

（負債）

流動負債は、238億9千万円と、対前連結会計年度末比で19億8千7百万円増加しました。増加額内訳は、電子記録債務27億4千8百万円、支払手形及び買掛金3億4千8百万円、その他1億8千5百万円等です。減少額内訳は、未払法人税等7億4千4百万円、賞与引当金3億2千9百万円、役員賞与引当金1億2千1百万円、未払費用1億1千4百万円です。

固定負債は、5千6百万円と、対前連結会計年度末比で8百万円増加しました。

（純資産）

純資産は、207億3千1百万円と、対前連結会計年度末比で9億2百万円増加しました。増加額内訳は、利益剰余金8億7千1百万円等です。

自己資本比率は、前連結会計年度末の47.5%から46.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいております。

現時点において、2022年5月13日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,674,821	7,743,479
受取手形及び売掛金	13,322,545	13,285,217
電子記録債権	3,687,848	4,891,083
商品及び製品	7,770,408	10,110,183
原材料及び貯蔵品	32,108	41,793
その他	154,456	421,128
貸倒引当金	△26,474	△26,659
流動資産合計	33,615,714	36,466,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,766,535	7,805,183
減価償却累計額	△6,129,659	△6,239,035
建物及び構築物 (純額)	1,636,876	1,566,148
機械装置及び運搬具	7,776,485	7,982,731
減価償却累計額	△5,281,475	△5,539,507
機械装置及び運搬具 (純額)	2,495,009	2,443,224
土地	1,899,876	1,899,876
その他	629,515	660,982
減価償却累計額	△563,279	△580,544
その他 (純額)	66,235	80,438
有形固定資産合計	6,097,997	5,989,686
無形固定資産	509,318	595,924
投資その他の資産		
投資有価証券	944,065	1,008,672
繰延税金資産	428,919	428,146
その他	184,570	189,946
投資その他の資産合計	1,557,555	1,626,765
固定資産合計	8,164,872	8,212,377
資産合計	41,780,586	44,678,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,844,404	8,192,587
電子記録債務	10,808,557	13,556,963
未払費用	986,691	871,801
未払法人税等	1,145,670	401,592
賞与引当金	604,959	275,749
役員賞与引当金	213,634	92,250
株主優待引当金	—	15,044
その他	299,259	484,445
流動負債合計	21,903,177	23,890,433
固定負債		
繰延税金負債	466	617
長期預り保証金	15,150	14,650
退職給付に係る負債	10,735	11,583
その他	21,982	30,061
固定負債合計	48,334	56,913
負債合計	21,951,511	23,947,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	17,739,890	18,611,193
自己株式	△1,878	△1,878
株主資本合計	19,359,409	20,230,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,395	156,201
為替換算調整勘定	319,269	344,341
その他の包括利益累計額合計	469,664	500,542
非支配株主持分	1	1
純資産合計	19,829,075	20,731,256
負債純資産合計	41,780,586	44,678,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	40,474,008	47,379,125
売上原価	32,903,281	39,505,021
売上総利益	7,570,727	7,874,103
販売費及び一般管理費	4,439,825	4,707,349
営業利益	3,130,902	3,166,753
営業外収益		
受取利息	5,644	7,480
受取配当金	30,374	101,560
不動産賃貸料	65,302	76,472
為替差益	7,256	32,019
その他	2,566	5,804
営業外収益合計	111,143	223,336
営業外費用		
不動産賃貸費用	19,208	13,608
固定資産処分損	3,268	4,885
支払手数料	378	378
その他	3,183	1,562
営業外費用合計	26,038	20,433
経常利益	3,216,007	3,369,656
税金等調整前四半期純利益	3,216,007	3,369,656
法人税等	1,028,227	1,080,630
四半期純利益	2,187,779	2,289,026
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,187,779	2,289,026

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,187,779	2,289,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,891	5,805
為替換算調整勘定	77,855	25,071
その他の包括利益合計	73,963	30,877
四半期包括利益	2,261,743	2,319,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,261,743	2,319,903
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。なお、当該見積りは現時点で入手可能な情報等を踏まえたものであり不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の経過により影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、翌四半期以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。